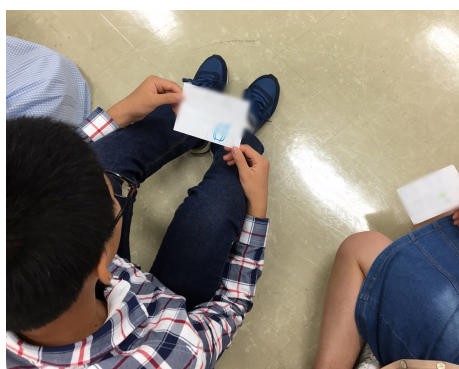


【活動レポート】7/15 学生がお楽しみ会を開催しました(府中国際交流サロン児童学習支援／学習支援サークルくりふ)

本学の学生は、地元府中のまちで、さまざまなボランティア活動を行っています。一番たくさんの学生が参加しているのが、府中市と協働で行っている「外国につながる子どもへの学習支援」です。

府中国際交流サロンでは、毎週金曜日、市内の小中学生対象の児童学習支援の教室が開催されています。府中市が教室を主催し、ボランティア活動スペースの学生への支援のもと、教室内の運営は学生に任されています。

7月15日は、夏休み前の最後の活動日でした。学生がお楽しみ会を企画、実施しました。その活動レポートをお届けします。



7月15日が1学期最後の活動日となり、5時～6時の勉強の時間後にお楽しみ会を行いました。今回のお楽しみ会は、新しくサロンに通うようになった子どもたちやこの春活動を始めた学生たち、普段の活動で関わりが少ない人たちがお互いに顔や名前を覚えたり、話しかけたりする機会になるように企画しました。

お楽しみ会の内容は、「ニワトリゲーム」と「バースデーチェーン」でした。「ニワトリゲーム」は、じゃんけんをして勝つにつれてタマゴ→ヒヨコ→ニワトリへと成長していくというもので、①それぞれの特徴を体で表現する、②同じ状態の仲間を見つけ、話しかけてじゃんけんをする、③ニワトリの状態に勝ったらあがり、などのルールを設けました。子ども・学生ともに、色んな人に積極的に話しかけて楽しむ姿を見ることができました。一方「バースデーチェーン」は、1月1日から12月31日まで誕生日順に並んで輪になる、というものでした。制限時間を5分とし、学生たちは誕生日を答えることしかできないと決めて、子どもたちが主体的に、且つみんなで協力して成し遂げるミッションという形をとりました。「何月何日？」や「誕生日はいつ？」のような誕生日を聞く表現や、「ついたち」「ふつか」といった日付特有の言い方などの日本語がたくさん飛び交っていました。制限時間以内になんとか輪を完成させると、誕生日を言って順番通りに並べたかを確認するのに合わせて一人ずつ自己紹介をしました。また、このために勉強時間の合間に名刺のような自己紹介カードを作りました。名前を書くこと以外は特に指定をしなかったため、絵を描いた子や自分の好きなものをたくさん文字で書いた子、ペンできれいに色塗りした子...と個性豊かなカードが出来上がっていました。全員の自己紹介が終わったら隣の人にカードを渡してお楽しみ会を終了しました。

今回のお楽しみ会を通して、ある程度お互いの顔や名前を覚えることができたと思います。また、子ども・学生みんなが楽しんでいるのを見られてとてもうれしかったです。日付の言い方や自分のことを誰かに伝えるための表現など、遊びの中に勉強になることを取り入れていく、というのは秋以降の活動にもいかしていきたいと思います。

(言語文化学部英語専攻2年 中村真子)

日時: 2016年08月09日